

経尿道的前立腺切除術

ステップ名称		手術前日	手術当日（前）	手術当日（後）	術後1日目
		1日目	2日目		3日目
治療（処置）				 心電図モニターがつきます	⇒ 心電図モニターがつきます
				 酸素吸入をします	⇒ 酸素吸入をします
				 尿管で血尿の程度、尿量の確認をします	⇒ 尿管で血尿の程度、尿量の確認をします
				 止血のため、尿管を軽く引っ張り大腿部にテープで固定します	 血尿が強くなければ大腿部の固定を緩めます
				 膀胱内で血液の塊が出来ることを防ぐため、生理食塩水を持続的に膀胱内に流します	⇒ 膀胱内で血液の塊が出来ることを防ぐため、生理食塩水を持続的に膀胱内に流します
薬剤		 就寝前に下剤を服用します	 内服薬がある場合は少量の水で内服します		
注射			 午後に手術の場合は術前から点滴があります	 点滴をします	 点滴をします
検査					 血液検査があります
食事/栄養		 24時以降は絶食です	 水分をとる事ができませんが、うがいはできます	 絶食です 手術後3時間以降、許可があれば飲水できます	 朝から食事があります
日常生活ケア	安全/活動	 制限はありません		 ベッド上安静です	 主治医の許可があれば朝から歩行可能です
日常生活ケア	清潔	 シャワー浴を行います			 体を拭きます
日常生活ケア	教育/指導	 手術に関する説明をします 絶飲食について説明をします	義歯や貴金属などは外します		 中止中の薬があれば内服再開の確認をします
		 内服中の薬で手術に伴い中止する薬の有無を確認します			
	排泄	 制限はありません			
観察		 体温、血圧、脈拍、SpO2を測ります	⇒ 体温、血圧、脈拍、SpO2を測ります	 体温、血圧、脈拍、SpO2を測定します 覚醒状態をみていきます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道痛、下腹部痛などを観察します	⇒ 体温、血圧、脈拍、SpO2を測定します 覚醒状態をみていきます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道痛、下腹部痛などを観察します
					⇒
リハビリ/その他					

経尿道的前立腺切除術

ステップ名称		術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目
		4日目	5日目	6日目	7日目
治療（処置）				 主治医の許可があれば尿管を抜去します	 主治医の許可があれば尿管を抜去します
				 残尿測定を行います	 残尿測定を行います
		 尿管で血尿の程度、尿量の確認をします	 尿管で血尿の程度、尿量の確認をします	 尿管で血尿の程度、尿量の確認をします	
		 膀胱内で血液の塊が出来ることを防ぐため、生理食塩水を持続的に膀胱内に流します			
薬剤					
注射		 点滴をします			
検査					
食事/栄養		 普通食です	 普通食です	 普通食です	 普通食です
日常生活ケア	安全/活動	 制限はありません	 制限はありません	 制限はありません	 制限はありません
日常生活ケア	清潔	 体を拭きます	 体を拭きます	 体を拭きます	 体を拭きます
				 尿管を取ってからシャワー浴ができます	 尿管を取ってからシャワー浴ができます
日常生活ケア	教育/指導	 中止中の薬があれば内服再開の確認をします		 排尿日誌（尿量、血尿の程度）をつけます  残尿測定をします 必要時、導尿をします	 排尿日誌（尿量、血尿の程度）をつけます 残尿測定をします 必要時、導尿をします
				 パンフレットを用いて退院までに退院指導を受けます	 パンフレットを用いて退院までに退院指導を受けます
日常生活ケア	排泄				
観察		 体温、脈拍、血圧、SpO2を測定します 覚醒状態をみていきます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道痛、下腹部痛などを観察します	 体温、脈拍、血圧、SpO2を測定します 覚醒状態をみていきます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道痛、下腹部痛などを観察します	 体温、脈拍、血圧、SpO2を測定します 覚醒状態をみていきます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道痛、下腹部痛などを観察します	 体温、脈拍、血圧、SpO2を測定します 覚醒状態をみていきます 尿量、血尿度、下腹部緊満、尿道痛、下腹部痛などを観察します
				 バルン抜去後、自尿、残尿量、残尿感、排尿困難、排尿時痛などを観察します	 バルン抜去後、自尿、残尿量、残尿感、排尿困難、排尿時痛などを観察します
リハビリ/その他					